

マーケットの動き（2020年6月8日～6月12日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利が低下しました（債券価格は上昇）。10日のFOMC（米連邦公開市場委員会）では現行の金融政策を当面の間続ける方針と、慎重な経済見通しが示され、前週からの金利上昇は一服しました。11日は米国での新型コロナウイルス感染第2波への警戒感からリスクオフの展開となり、前週末比で金利が低下しました。

ドイツ国債市場も、前週末比で金利が低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2020年6月）

米国、欧州（ドイツ）ともに、長期金利は低位で推移

米国：FRBは、新型コロナウイルスの感染拡大および社会・経済活動制限による米国経済への影響は深刻で、回復には相当の時間を要するとみています。当面はFRBの緩和的な金融政策を背景に長期金利は低位で推移するとみています。

欧州：EUによる復興基金設立により債券発行による需給悪化の可能性は残りますが、ECBの緩和的な金融政策を背景に、ドイツ長期金利は低位で推移するとみています。

	6月12日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	0.70	▲0.21	0.02	▲1.20	▲1.43
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	485.07	▲1.50%	2.24%	3.30%	6.05%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

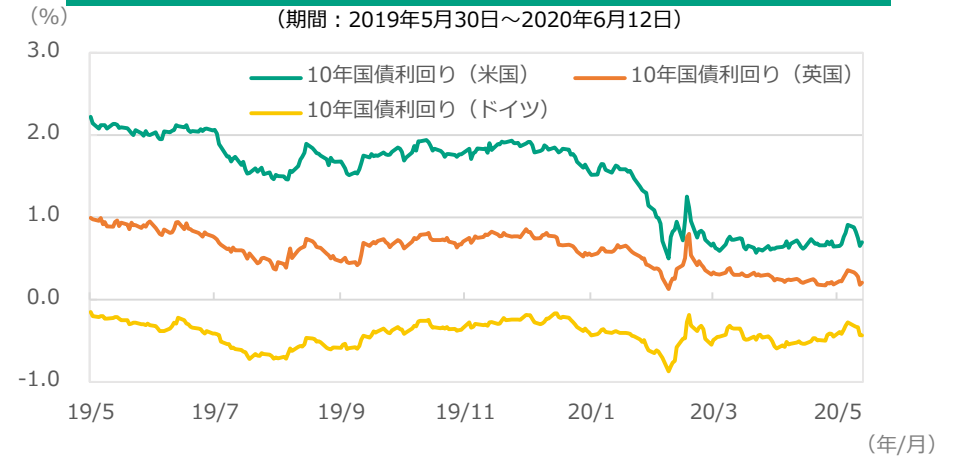
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202006_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

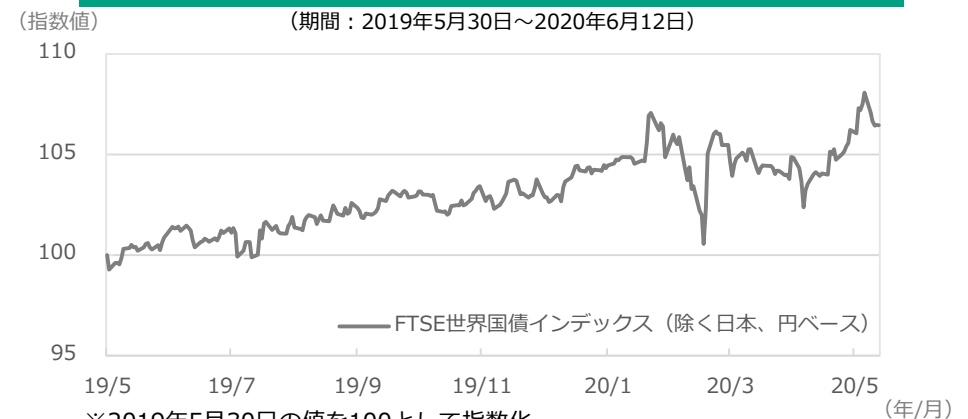
主要国国債利回りの推移

（期間：2019年5月30日～2020年6月12日）



FTSE世界国債指数の推移

（期間：2019年5月30日～2020年6月12日）



※2019年5月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成